

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

|     |           |       |      |
|-----|-----------|-------|------|
| 学校名 | 指宿市立魚見小学校 | 児童生徒数 | 102人 |
|-----|-----------|-------|------|

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 10/12 (木) 単元名: 約数                    |  |
| 【自己評価】◎:とてもできた ○:まあまあできた △:あまりできなかった |  |
| 態度目標にそって学習<br>できましたか。                | ◎ おんねの話をしっかりきく事ができ<br>ました。                                     |
| 学習の目標を達成する<br>ことができましたか。             | ◎ しせいを正しくして、話してる<br>人の方とちゃんとま'いけ。                              |
| 分かったこと<br>分からなかったこと<br>感想            | 公約数のもとめかたは、2と47を<br>とすると、その約数の同じ数をさがす。<br>最大公約数は、その中でも大きい<br>数 |

○ 「態度目標」と「学習の目標」を設定し、学習に取り組み、振り返りで3段階評価と記述式で評価をさせている。本児童の「態度目標」と「学習の目標」は以下のとおりである。

態度目標：①自分の考えとつなげながら聴く。②分からないことを友達に伝える。  
③友達の分からないことを聴く。④話すときと聴くときのメリハリをつける。  
学習の目標：①友達の話をしっかり聴く。②自分の言葉で説明できるようになる。

○ 本時の授業を振り返り、分かったこと、分からなかったこと、授業の感想を記述させている。

取組についての概要（成果）

10月12日（水） 第5学年 算数科「倍数と約数」における実践

毎時間、終末に5分程度、「振り返りカード」に記入させることで、授業の振り返りをさせている。振り返りの視点としては、「態度目標」、「学習の目標」、「授業で分かったこと・分からなかったこと・感想」の3つの視点を設定している。記述による振り返りをすることで、自分のできたこと・できなかったことや分かったこと・分からなかったこと、次頑張りたいことなど自己を見つめ、児童の学びを明確化することができた。

分かったことを自分の言葉でまとめる他には、「友達に分からないことを聞けて、納得できた」や「自分で友達の前で説明することができてうれしかった」など自分ができるようになったことを実感する振り返りや「〇〇さんの考えがおもしろかった」といった友達の考えのよさに気付くことができた振り返りもあり、自他の学びのよさに触れることができていた。

今後も振り返りの視点をもって学習に臨むことで、学習の定着を図っていきたい。